

# TOSHIBA

Leading Innovation >>>

---

## SPI Japan 2012 企業セッション 全社的なSPI活動の実践結果とその振り返り ～ Toshiba's SPI History since 2000 ～

株式会社東芝 ソフトウェア技術センター  
2012年10月11日



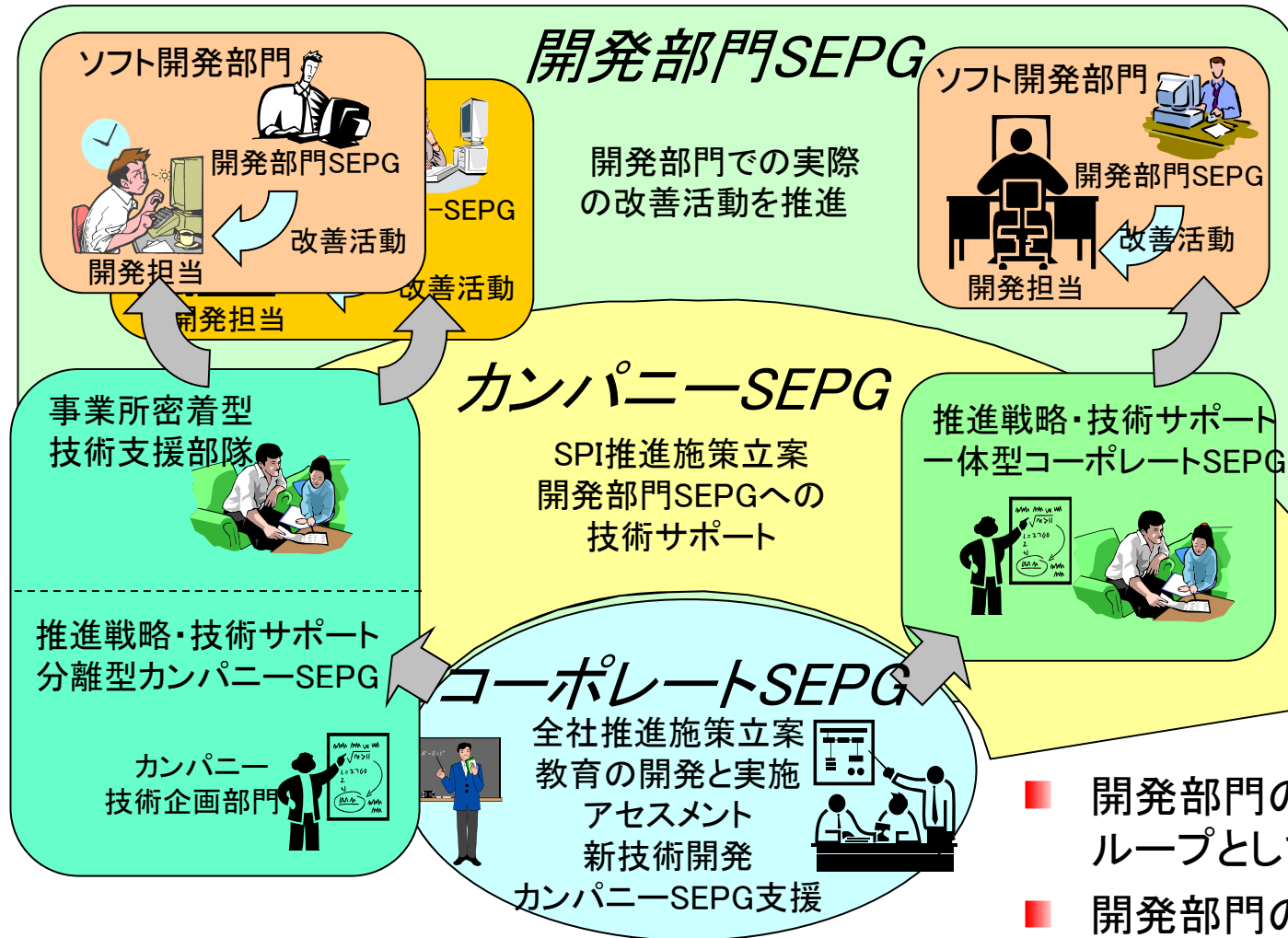
東芝グループは、持続可能な  
地球の未来に貢献します。

# 東芝におけるSPI活動の実践

---

- 東芝グループ全体にソフトウェアプロセス改善活動を推進するために、
  - 「ソフトウェアプロセス改善活動を推進・定着させるための仕組み」を提案
  - この仕組みに基づいてSPIフレームワークを構築
  - 10年間以上にわたり実践
  - 多くの開発部門がソフトウェアプロセス改善活動を開始し、現在も継続して実施中

# 東芝におけるSPI活動の推進体制



## 3階層SEPGの構築

- 開発部門のSPI活動を推進するグループとしてSEPGを設置
- 開発部門の状況に合わせたきめ細かい支援を実施するために、カンパニー毎にSPI活動を支援する部門を設置

# 本セッションの概要

---

- 伝えたいこと

- 東芝グループにおけるSPI活動の推進方法
- この10年間で、カンパニーや開発部門がどのように変化してきたのか(事例紹介)
- SPI活動を推進するには、“よりどころとなる”技術や経験を持っていれば、若手技術者でもその役割を担うことができる

- 議論したいこと

- これから10年、20年先もSPI活動を継続するためのポイントは何か？
  - 10年間を振り返り、将来に向けての提言をする！

# 構成

---

- **9:30-9:35 オープニング**
  - 小笠原 秀人((株)東芝 ソフトウェア技術センター)
    - 本セッションの目的と構成
- **9:35-10:00 東芝におけるSPI活動**
  - 藤巻 昇((株)東芝 ソフトウェア技術センター)
    - 東芝におけるSPI活動の特徴と実践結果、今後の推進方法
- **10:00-10:25 実践事例**
  - 阪本 太志(東芝デジタルメディアエンジニアリング(株) ソフトウェアセンター)
    - 東芝デジタルメディアエンジニアリングにおけるSPI活動の実践内容とその効果
- **10:25-10:40 若手技術者の挑戦**
  - 伊藤 裕子((株)東芝 ソフトウェア技術センター)
    - 若手技術者からのメッセージ(SPI活動支援の中でびっくりしたこと、奮闘したこと、学んだこと、ベテランの方々に期待すること)
- **10:40-10:45 休憩(配置換え)**
- **10:45-11:30 パネルディスカッション(次ページ参照)**

# パネルディスカッション

---

- **進め方**

- これから10年、20年とSPI活動を継続するためのポイントを、コーポレートの立場とカンパニーの立場に分かれて、お互いに意見を出し合いながら議論する

- **パネリスト(予定)**

- **カンパニー**

- 村上 雅俊((株)東芝 デジタルプロダクト&サービス社)
- 岸 利至((株)東芝 セミコンダクター&ストレージ社)
- 緒方 勝((株)東芝 社会システムインフラ社)
- 平原 嘉幸(東芝テック(株))
- 北村 秀生(東芝システムインフォメーションシステムズ(株))

- **コーポレート**

- 藤巻 昇((株)東芝 ソフトウェア技術センター)

- **議論の内容**

- **テーマ1(各5分、計25分): 各カンパニーにおけるSPI活動**

- 各カンパニーで開発している製品概要、SPI活動の特徴、今までの成果と課題、コーポレートへの要求や苦情

- **テーマ2(10分): コーポレートの立場から**

- コーポレートの立場から各カンパニーにチャレンジしたいこと、コーポレート側でチャレンジしなければいけないこと

- **テーマ3(10分): SPI活動を継続するために**

- 各パネリストから、20年先もSPI活動が継続しているための提言

**TOSHIBA**

**Leading Innovation >>>**